愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【オン】人間健康特講Ⅳ		
担当者(Instructors)	石渡 靖之	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「チームマネジメントⅡ」 スポーツ指導者が異なる状況の中で様々な要因を分析・整理した上でチームの組織運営をどのように進めていくべきかを中心に学ぶ授業である。先ず、スポーツ指導者に必要な基礎的な知識や理論の修得を目指す。また科学的及び理論的な視点で選手指導やチームづくりを行うための資質・能力及び態度を養い、近い将来のスポーツ指導者として現場で必要となる力を身につける。さらにスポーツ指導の場面に限らず、人と関わる社会生活の様々な場面で役立つ授業となることを目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	オンライン授業（オンデマンド）。Google classroomを通じて授業資料、授業プリント及び授業課題を投稿し、メール、chat等を使って質問等を受けながら、授業プリント及び授業課題を作成し、提出してもらう形式で授業を進める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本授業の目的と到達目標の確認などを行う。	□
第2回	体育教師とコーチについて	「ティーチング」と「コーチング」について コーチングの実践と課題について考える。	□
第3回	スポーツ活動と栄養	競技力向上のための栄養摂取について 日々の継続が選手を変え、チームを変える。	□
第4回	メンタルトレーニング	メンタルトレーニングについて学ぶ。 大事な場面で持てる力を発揮するためにやるべきことなどについて	□
第5回	チーム運営の理論と実際（１）	スポーツ事故における法規、指導者の責任や安全対策について 選手を育成するための指導者の視点について	□
第6回	チーム運営の理論と実際（２）	様々なケースにおける問題点やその対応についての考察 （少子化の進展、外国人（留学生を含む）の増加などをテーマにする予定）	□
第7回	運動部活動の意義と課題	運動部活動の現状 運動部活動の課題（部活動ガイドライン、休養日などをテーマにする予定）	□
第8回	スポーツと勝利至上主義	スポーツの一つの価値として「勝利」があるが、一方、スポーツの価値を貶めるものとしての「勝利至上主義」についての考察を行う。	□
第9回	学校体育と社会体育について	今後の学校体育及び運動部活動の方向性について考える。 社会体育（クラブ）の利点と課題について	□
第10回	スポーツクラブについて（１）	法人化と財源（ＮＰＯ法人など）について学ぶ。 総合型地域スポーツクラブの地域への貢献と地域活性化についての考察	□
第11回	スポーツクラブについて（２）	スポーツクラブの事業について学ぶ。 スポーツビジネスの現状と今後についての考察	□
第12回	スポーツにおける今日的課題（１）	スポーツにおけるハラスメントの問題 スポーツとジェンダー	□
第13回	スポーツにおける今日的課題（２）	インクルーシブ教育について（共生社会の実現に向けたスポーツの果たす役割とは） 障がい（害ではない）者スポーツの種類、意義、及び重要性について考える。	□

第14回	スポーツにおける今日的課題（３）	アンチドーピングについての考察（指導者としての留意点など） 喫緊の課題について考える。（経済格差の進展とスポーツ活動、ゲーム障害と子どもの体力低下などを予定）	□
第15回	授業のまとめ	講義内容の総括 信頼されるスポーツ指導者について考える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習については、次回予告で示す内容について指示を出した事項について、事前に調べ学習を行い、授業で提示するプリントに記入してもらう。（提出の詳細等については、授業内で指示する。） ・各授業毎に授業内容及び事前学習で課した内容に関する授業プリントを作成・提出してもらう。この授業プリントの提出をもって出席扱いとする。また、提出した授業プリントは提出期限や内容に応じて評価し得点を付与する。提出期限は１週間以内とし、別途指示する。 ・事後学習として、学習した内容に関するレポート課題を課す。レポートの内容・形式等については授業時に説明する。この提出課題については、評価に加える。 事後学習課題（レポート）の提出期限は、授業時に指示する。（提出期限は遵守）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業やプリント及び課題の内容等についての質問は、随時チャットまたはメールにて受け、回答する。また毎授業ごとに提出するプリントについては、コメント及び評価を加えて返却する。また、提出を課す授業課題（レポート）は、採点等の後、返却する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	・スポーツ指導者として必要な知識・技能を駆使して、状況に応じた的確な分析を行うことができる。 ・授業課題への取り組みなどを通じて、思考力・判断力・表現力の育成を目指すとともに、選手や生徒に対して的確な助言指導ができる。
主体性	◆ 2019人間健康DP3	・様々な状況下において、チームをより良い方向に導くための問題解決能力及び多様な価値観を認め、指導者としての望ましい態度で的確な対応が取れる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	0%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・平常評価は、毎回の授業に提出を課す授業プリント１５回分、授業課題（レポート）５回分によって１００点とする。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて資料を配付する。（インターネット資料など）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	原田宗彦・小笠原悦子（編著）「スポーツマネジメント」：大修館書店	
2	友添秀則・岡出美則（編著）「教養としての体育原理」：大修館書店	
3	大儀見浩介（著）「勝つ人のメンタル」：日本経済新聞社	
4	髙橋健夫他（編著）「基礎から学ぶスポーツ概論」：大修館書店	
5	入澤充（著）スポーツの法律入門：山海堂	